

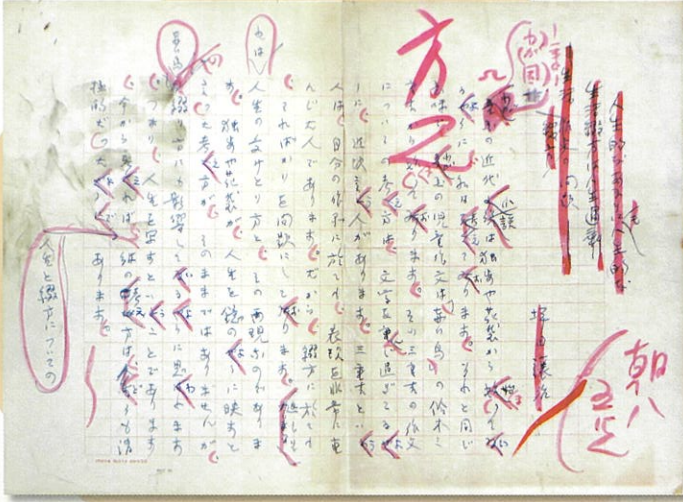
特別展

吉備路の 文学者と 原稿展

2023年6月4日(日)

9月3日(日)

〔初公開〕



坪田譲治の直筆原稿
「人生的なあまりにも人生的な 生活綴方の問題」

吉備路文学館では、吉備路ゆかりの文学者に関する様々な文学資料を収集・保存しています。今回の展示では、そのなかから特に原稿資料を中心にご紹介いたします。

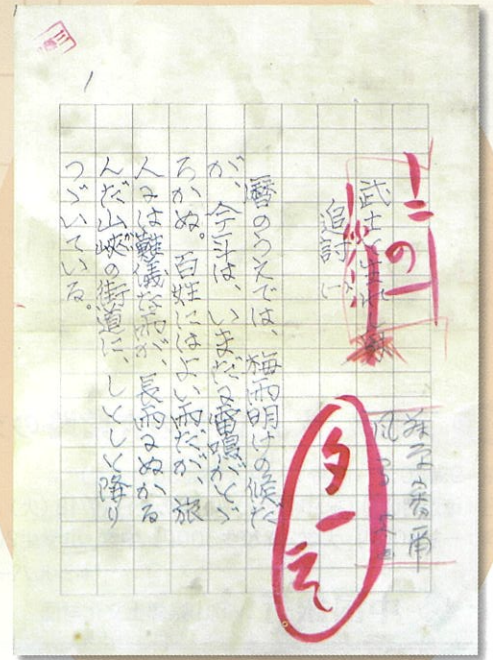
このたび初公開となる直筆原稿をはじめ、筆者自身が校正したゲラ刷りや、現役作家によるワープロ原稿、さらに文学者が愛用していた筆記用具や原稿用紙なども展示いたします。

新聞や雑誌、図書など、活字になって私たちの目に触れる前の原稿からは、文学者たちが試行錯誤を重ねる様子が伝わってきます。文学者たちの執筆する姿を想像しながら、展示をお楽しみいただければ幸いです。

【おもな展示文学者】 本山荻舟、内田百閒、坪田譲治、木山捷平、藤原審爾、吉行淳之介、小川洋子 ほか



木山捷平が校正したゲラ刷り「ネクタイ」
雑誌「新潮」62巻3号（新潮社/昭和40年）に「太常の妻」として掲載。



〔初公開〕

藤原審爾の直筆原稿
「武士と生れし男 追討（一）」（『武士道地獄』冒頭部分）

北泉庭のご案内

吉備路文学館には、小さな日本庭園があります。
館内からゆっくりながめたり、庭をめぐってみたり。

春夏秋冬

四季それぞれの彩りをお楽しみいただけます。



睡蓮

〔交通のご案内〕 JRでお越しの方：岡山駅より徒歩15分、タクシー3分
バスでお越しの方：岡電バス〔妙善寺・三野公園〕行、または宇野バス〔美作方面〕行で「南方交番前」下車徒歩3分
お車でお越しの方：文学館前の道路は午前東行・午後西行の一方通行です。

